

## 第15回堺市議会 議会報告会の振り返り

### ●日程の告知

- ・議会報告会と地域の行事日程が重複し、自治会役員で参加を希望された方が議会報告会に参加できなかった。自治連合協議会への情報提供については、ポスター完成後に限らず、日程は早期に告知が必要である。

### ●参加者の募集

- ・若い方の出席が大変少なく今後の課題としなければいけない。政治を身近に感じていただく工夫や気軽に参加してもらえる環境づくり、参加特典を用意するなどの仕掛けについて検討が必要である。

### ●議員の役割等

- ・ワーキンググループの議員が配布物や名札、資料のセッティングなどの準備を行ったが、もう少し人数を増やしてもよい。
- ・配布物等のセッティングまでの事前準備について、議会局の負担が多いが、議員が限られた時間内で準備をスムーズに行うためには一定必要と考える。
- ・受付を済ませた参加者を各テーブルへの誘導役が必要である。(開始までの間、ファシリテーター役が担う。)
- ・チラシとポスター作成における議員と議会局の役割分担については、業者への発注内容や費用負担等を含め、検討する必要がある。

### ●第1部議会報告の実施方法

- ・4役の挨拶や議会報告を録画することで、音声トラブルもなく聞き取りやすかった。
- ・一方で動画視聴は「見るだけ」で退屈に感じられる。議会の役割と議会報告については、動画の時間の短縮か、同じ資料を使って各会場の議員が報告を行った上で、質疑応答もできる形にした方がよい。

### ●第2部意見交換会の運営等

- ・タイムキーパーから「1分」の声をかけるタイミングが難しく、ベルがあった方がよい。また、参加者にとって「1分で話をまとめる」のは難しく、「2、3分」くらいはあった方がいいように思う。
- ・1人1分でベルを鳴らすのではなく、同じ方が長時間発言した場合にファシリテーターやタイムキーパーが声掛けをするなど、臨機応変に対応するのがよい。
- ・質問に答える議員側の話す時間が長いと感じた。
- ・ファシリテーターはテーマに沿わない議題に関しては、テーマに沿うように進行をする必要があると考える。
- ・傍聴者も意見交換に参加してもよいのではないか。
- ・今年は参加者も多く4テーブルではテーブルごとの人数が少し多かったため、臨機応変にテーブルを増やすほうが、より参加者の発言を掘り下げができると考える。
- ・昨年は各テーブルにファシリテーター、タイムキーパーと2名の議員がいたため、市民からの質問に対してスムーズに答えることができたが、今年はファシリテーター、タイムキーパーが役割をこなしながら参加者の質問に答えなければならないため、慌ただしさがあったと感じる。特にタイムキーパーは書記も行わなければならない。
- ・参加者の方に議論する内容を任せるとではなく、例えば、いくつかの議題を用意して意見交換を行っていただくなどの細かなテーマを定める取組が必要ではないか。